

# KANTOU

かんとう



新緑の竜神大吊り橋と鯉のぼり（茨城県・常陸太田市）

- ▶ 関東商組 新年会
- ▶ 全原連 新年会
- ▶ 委員会トピックス―需給委員会
- ▶ 三紙会韓国研修
- ▶ 支部だより―東京都西支部  
群馬県支部

春号

## 需給委員会 ベトナム視察



## 需給委員会 マレーシア視察



## 巻頭言

## とどけ！ 春風

あっという間に今年も2か月が過ぎました。1月に国会開催初日に冒頭解散が宣言され、2月に衆院選選挙が行われて自民党が単独で過半数を超える圧倒的な勝利を収めました。国会での審議時間も十分ないまま来年度の予算が決まりそうな情勢です。

ミラノ、コルティナオリンピックが2月6日から22日まで行われフィギュアスケートの“りくりゅうペア”の金メダルをはじめ冬季オリンピック史上過去最高のメダルを日本選手団が獲得しました。オリンピックが終了して感動に浸っていたら2月28日にイスラエルとアメリカによる爆撃でハメネイ氏が死亡したとのニュースが飛び込んできました。それまでアメリカはイランとの核協議を進めていたにもかかわらず。

報復としてイランがイスラエルや米軍が駐留する周辺国を攻撃するなど、中東情勢が緊迫化しています。多くの船舶が、原油、液化天然ガス等の輸送の要衝であるホルムズ海峡の航行がイランの封鎖によりできなくなっております。それまで1バレル70ドル台前半だった原油が一時119ドルまで上昇したり、アメリカの護衛艦がつくという情報から80ドル台まで下落したり乱高下を繰り返してる状況です。

原油価格の高騰はガソリン、軽油、灯油等の石油製品に加えて、原油価格に連動する液化天然ガスの輸入価格も上昇させてガスや電気代にも波及し、さらにエネルギーコストの増大は様々な財、サービスの価格上昇にもつながり、インフレ圧力が強まります。4月には企業向けの電



関東製紙原料直納商工組合  
理事長

藤川 達郎

気代が上がるとの報道もありました。かつてのオイルショックという言葉がニュースでも見られるようになっていきます。

トランプ大統領は当初4～5週間で攻撃は終了と宣言していましたが、体制崩壊は容易ではなく泥沼化の可能性が高いと思われます。長期化すればインフレと景気後退が進むスタグフレーションとなりかねません。この「かんとう」春号が皆様のお手元に届くころには戦争が終了することを強く望みます。

製紙連合会の1月紙・板紙需給速報によりますと国内出荷は紙・板紙合計でマイナス2%。紙がマイナス3.4%、板紙がマイナス0.6%ということでした。低調な環境が続いております。古紙の発生も低調ではありますが、製紙各社さんの稼働も低調で順調に出荷が進んでいるとは言えない状況です。2月の間屋在庫は多いところと少ないところでまだら模様の様子です。

なんとも先行き不安で情けない日々であります。WBCを観戦しながら侍ジャパンに元気づけてもらいましょう！2026も優勝だー！！

(2026年3月11日記)

# 関東商組 理事会報告

## 令和7年度 第7回 理事会報告

開催日時 令和7年12月19日(金)  
午後3時～4時40分  
開催場所 古紙再生促進センター会議室  
出席者数 理事23名 監事2名

### 議事要旨

#### 1. 古紙持ち去り関係

##### (1) GPS 追跡調査実施状況

正規ルート1件(11月理事会から本理事会の間)

##### (2) 令和8年度GPS追跡調査に関する方針

- ・来年度も現状の運用方法により実施する。
- ・関係自治体に引き続き協力を求める。
- ・持ち去り禁止法令の制定・施行後は方針を再検討する。

#### 2. 各支部市況報告

(記載省略)

#### 3. 賦課金の見直し案に関する意見の取りまとめ

- ・次の通り意見が寄せられた。

- ① 増額(物価高騰や人件費の上昇などを考慮)及び算定方法

#### ② 算定基準(ベアラ数)

#### ③ ランク付けの確認方法(より積極的な方法を検討すべき)

- ・①②については今後の課題とする。③は組合員名簿の増減修正との併用とする。
- ・見直し案を5月の通常総会に上程することを賛成多数(棄権あり)で決議した。

#### 4. 手形サイト短縮に関する経産省とのやり取り

- ・下請関係よりも不利な状況のまま取り残されることを危惧している。
- ・政府としては取適法対象外においても支払いの適正化を求めている。
- ・支払い条件が悪い取引が多発し、申し入れも拒否される事案が頻発するようであれば、改めて相談してほしい。

#### 5. 各会議報告

##### (1) 総務財務委員会(12/12開催)

全原連からの業務受託収入が四半期ごとになったため、収入が支出に追いつかない状況にあるが、懸念される状態ではない。

##### (2) 正副理事長・委員長合同会議(12/12開催)

#### 6. 近代化推進委員会報告

##### (1) 経営革新委員会(12/16開催)

## かんとう No.232 目次

|        |          |       |       |         |       |          |         |         |          |          |       |     |
|--------|----------|-------|-------|---------|-------|----------|---------|---------|----------|----------|-------|-----|
| 編集人の後記 | 三紙会TWEET | 群馬県支部 | 支部だより | 三紙会韓国研修 | 需給委員会 | 委員会トピックス | 集団回収感謝状 | 全原連 新年会 | 関東商組 新年会 | 三紙会定例会報告 | 理事会報告 | 巻頭言 |
| 38     | 37       |       | 31    | 28      | 14    | 13       | 9       | 7       | 5        | 2        | 1     |     |



表紙写真

茨城百景の一つで、竜神峡に掛かる鉄橋。1994年の開通以来、多くの観光客が訪れる。橋長は375m、歩行者用の吊り橋としては有数の長さを誇り、地上高100mの橋上から望む阿武隈山系の山並みや、水府の街並みは絶景。橋の上から100m級のブリッジバンジーも出来、毎年1万人以上のジャンパーが挑んでいる。

〈渉外広報・IT委員会〉

- ・古紙リサイクルアドバイザー試験は2026年9月から新試験に移行する。
- ・省エネペーラーの勉強会を行う。
- ・業界振返りをまとめた。

## (2) 安全防災委員会

- ・熱中症対策アンケートへの協力を改めて要請する。
- ・リチウムイオン電池混入防止シールの配布に向けて準備を進めている。

## (3) 需給委員会 (11/26 開催)

- ・国際マーケット調査事業 12月分見積合わせを行った。
- ・マレーシア班とベトナム班の視察レポートがまとまった。韓国班は年明け2月頃を予定

## (4) 三紙会

11月度 裾物三品仕入実績速報値 (31 社)

|      | 前月比(%) | 前年比(%) |
|------|--------|--------|
| 段ボール | 94.0   | 97.5   |
| 新聞   | 102.6  | 91.0   |
| 雑誌   | 96.0   | 92.1   |

## (5) 渉外広報・IT 委員会 (12/15 両部会合同開催)

- ・かんとう編集部会 231号校正 (2026. 1. 20 発行予定) 232 号企画
- ・IT 活用部会 SSL 対応依頼  
組合員名簿掲載見積依頼  
ホームページへのリンクを募集する

## 7. その他

- (1) 東リ協会 11/25 の来年度予算要望に関する報告
- (2) 全原連 第6回理事会報告及び依頼事項
- (3) 古紙センター 本年8月末をもって「主要古紙価格」調査終了

## 各種統計資料

1. 32 社古紙在庫月別報告書 (2025 年 11 月)
2. 財務省 貿易統計 古紙輸出の取りまとめ (2025 年 10 月)
3. 日本製紙連合会 紙・板紙需給速報

(2025 年 10 月)

4. 日本製紙連合会 紙・板紙品種別生産・出荷・在庫高表 [暫定] (2025 年 10 月)

## 次回開催予定

令和8年2月19日(木) 午後3時

(令和8年1月 休会)

## 令和7年度 第8回 理事会報告

開催日時 令和8年2月19日(木)

午後3時～4時10分

開催場所 関東商組会議室

出席者数 理事24名 監事1名

## 議事要旨

## 1. 古紙持ち去り関係

- (1) GPS 追跡調査実施状況

2セット(正規ルート)

- (2) 古紙の循環的利用の適正な確保のための古紙卸売業に関する法律案(仮称)要綱(案)に対する意見募集(全原連からの依頼)

3月31日までに意見や疑問点等をメール又はFAXにて事務局に連絡する。

古紙持ち去り問題意見交換会で取りまとめ、議連に提出する。

## 2. 各支部市況報告

(記載省略)

## 3. 次期役員候補者の推薦状況

2/19(木) 午後2時30分開会の推薦会議にて本部及び9支部から提出された役員候補被推薦者名簿に基づき35名の役員候補者が出そろったことが報告された。

## 4. 各会議報告

- (1) 総務財務委員会 (2/13 開催)

- ・今年度末収支は少額ながらプラスになる見込みである。

- ・1/15の新年会の収支は180万円の予算に対して支出は160万円弱だったことが報告された。

- (2) 正副理事長・委員長合同会議 (2/13 開催)

(3) 推薦会議（2/19 開催）

- ・議長に齋藤米蔵副理事長を互選した。
- ・本部及び9支部による役員候補被推薦者名簿の取りまとめ及び各候補者に対する承諾書提出依頼を行うことを決定した。
- ・監事をこれまでの先例に従い近藤英彰さんと須美修さんとすることを決めた。

5. 近代化推進委員会報告

(1) 経営革新委員会（1/21・2/9 開催）

- ・現行の古紙 RA 試験は今年度末をもって終了し、2026 年 9 月から新試験に移行する。
- ・現在の古紙需給動向について各委員からヒアリングを行った。
- ・古紙 RA テキストの作成について議論した。次回方向性を結論づける。

(2) 安全防災委員会

- ・「リチウムイオン電池混入防止」ステッカーの配布について報告した。

(3) 需給委員会（1/28 開催）

国際マーケット調査事業 2 月分見積合わせを行った。

- ・韓国班の視察は 3/4～6 に行う予定

(4) 三紙会

1 月度 裾物三品仕入実績確定値（31 社）

|      | 前月比(%) | 前年比(%) |
|------|--------|--------|
| 段ボール | 86.7   | 101.2  |
| 新聞   | 85.2   | 93.8   |
| 雑誌   | 89.8   | 99.5   |

(5) 渉外広報・IT委員会 IT活用部会（2/10 開催）

- ・HP にアクセスしやすいように対応中
- ・組合員名簿を新サイトのデザインにより県ごとに再編する。
- ・組合員名簿への HP のリンクを確認している。

6. その他

(1) 古紙センター 感熱発泡紙の混入防止を依頼した（盲学校・点字図書館あて）

各種統計資料

1. 32 社古紙在庫月別報告書（2026 年 1 月）
2. 財務省 貿易統計 古紙輸出の取りまとめ（2025 年 12 月）
3. 日本製紙連合会 紙・板紙需給速報（2025 年 12 月）
4. 日本製紙連合会 紙・板紙品種別生産・出荷・在庫高表〔暫定〕（2025 年 12 月）

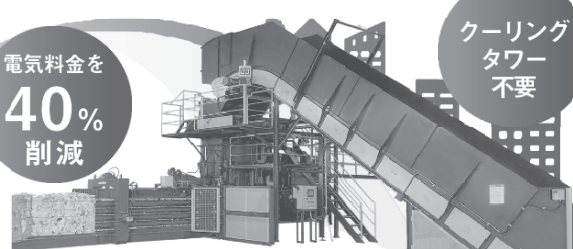
次回開催予定

3 月 26 日（木）午後 3 時 組合会議室

**次世代省エネペーラーSW770 型 PHE 誕生**

電気料金を  
**40% 削減**

クーリング  
タワー  
不要



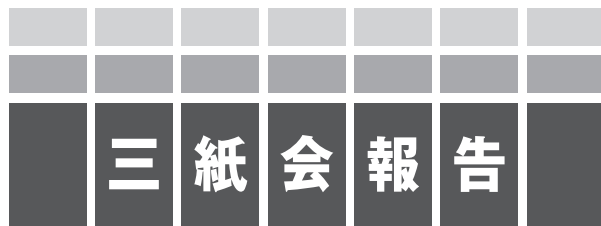
**株式会社 昭 和**  
本社 〒134-0091  
東京都江戸川区船堀 2 丁目 23 番 21 号  
電話 03-3689-0303 FAX 03-3689-0318

**ペーラー番線**

**最良の品質・防錆OK**  
ートラブル、ロスが少ないー  
50K・100K・500K・1000K

**坂野興業株式会社**

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170  
浦安営業所 TEL047-354-6531 FAX047-351-5201  
静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704



## 令和7年度 12月 定例会

日 時：令和7年12月22日(月)

15時30分～17時00分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：小池 茂男・(株)小池商店

山口 直・(株)國光

報告者：井出 一之・井出紙業(株)

出席社：19社

### 【令和7年11月

#### 裾物主要三品仕入実績報告 (31社)】

|      | 前月比    | 前年比    |
|------|--------|--------|
| 段ボール | 94.3%  | 103.6% |
| 新 聞  | 101.7% | 96.0%  |
| 雑 誌  | 96.1%  | 98.2%  |

### 【ブロック別仕入平均単価報告】

#### ○各地区発表

|      | 平均単価    | 前月比      |
|------|---------|----------|
| 段ボール | 10.31 円 | - 0.01 円 |
| 新 聞  | 13.74 円 | - 0.07 円 |
| 雑 誌  | 5.21 円  | +0.02 円  |

### 【各委員会活動報告】

#### ●業務委員会：

##### (1) パルプ市況報告 (11月積み対日価格)

|      | \$ 価格     | 前月比  |
|------|-----------|------|
| NBKP | 820       | ±0   |
| LBKP | 575 ～ 615 | + 20 |

#### ●研究委員会：12月度 新聞・チラシ重量調査 協力依頼

定例会終了後、上野・翠鳳にて忘年会を開催した。

## 令和8年度 1月 定例会

日 時：令和8年1月20日(火)

15時30分～17時00分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：後藤 和則・(株)高岡

石賀 英樹・(株)大久保

報告者：井出 一之・井出紙業(株)

出席社：17社

### 【令和7年12月

#### 裾物主要三品仕入実績報告 (31社)】

|      | 前月比    | 前年比    |
|------|--------|--------|
| 段ボール | 116.5% | 103.6% |
| 新 聞  | 113.1% | 96.0%  |
| 雑 誌  | 122.5% | 98.2%  |

### 【ブロック別仕入平均単価報告】

#### ○各地区発表

|      | 平均単価    | 前月比      |
|------|---------|----------|
| 段ボール | 10.30 円 | - 0.01 円 |
| 新 聞  | 13.64 円 | - 0.10 円 |
| 雑 誌  | 5.25 円  | +0.04 円  |

### 【各委員会活動報告】

#### ●業務委員会：

##### (1) パルプ市況報告 (12月積み対日価格)

|      | \$ 価格     | 前月比  |
|------|-----------|------|
| NBKP | 820       | ±10  |
| LBKP | 595 ～ 635 | + 20 |

#### ●研究委員会：12月度新聞・チラシ重量調査 結果報

#### ●財務委員会：季節変動係数算出調査 協力依頼

#### ●広報委員会：「かんとう」三紙会 TWEET 執筆依頼

#### ●その他：4月の総会開催に向けた、各委員会 開催依頼

## 令和8年度 2月 定例会

日 時：令和8年2月24日(火)

15時30分～16時50分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：斎藤 元司・(株)斎藤英次商店

中村 正実・(株)共益商会

報告者：相田 寛文・(株)丸興佐野錦一商店

出席社：21社

## 【令和8年1月

## 裾物主要三品仕入実績報告(31社)】

|      | 前月比   | 前年比    |
|------|-------|--------|
| 段ボール | 86.7% | 101.2% |
| 新 聞  | 85.2% | 93.7%  |
| 雑 誌  | 89.8% | 99.5%  |

## 【ブロック別仕入平均単価報告】

## ○各地区発表

|      | 平均単価    | 前月比     |
|------|---------|---------|
| 段ボール | 10.29 円 | -0.01 円 |
| 新 聞  | 13.71 円 | +0.07 円 |
| 雑 誌  | 5.21 円  | -0.04 円 |

## 【各委員会活動報告】

## ●業務委員会：

## (1) パルプ市況報告 (1月積み対日価格)

|      | \$ 価格   | 前月比 |
|------|---------|-----|
| NBKP | 820     | ±0  |
| LBKP | 615～655 | +20 |

## ●研究委員会：3月度の新聞・チラシ重量調査の協力依頼

## ●財務委員会：季節変動係数算出調査 協力依頼

## ●広報委員会：「かんとう」の三紙会 TWEET 執筆依頼

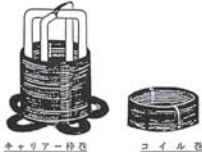
3月17日(火)に広報委員会を開催予定

## ●その他：

・3月の定例会前に総会の打合せを行う。

・総会は、4月26日(日)鬼怒川温泉にて開催する。

二十一世紀の環境を守る。  
信頼のパートナー。  
古紙用ベラー番線。



最良の品質  
豊富な在庫  
万全なサービス

株式会社 櫻井

http://www.kk-sakurai.com/  
〒116-0014 東京都荒川区東日暮4-13-12  
TEL 03-3803-3511  
FAX 03-3807-8153

| 品名  | 単位 | 50 | 100 | 500 | 1,000 |
|-----|----|----|-----|-----|-------|
| ベラー | 1巻 | 50 | 100 | 500 | 1,000 |
| ベラー | 1巻 | 50 | 100 | 500 | 1,000 |
| ベラー | 1巻 | 50 | 100 | 500 | 1,000 |

**WorkVision**  
Creating Value for The Future

お問い合わせ先  
ビジネスソリューション営業第一部  
営業担当：神崎 真樹  
TEL: 03-4233-0945 FAX: 03-5463-1138  
\*旧社名 東芝ソリューション販売株式会社  
2019年7月1日より社名変更となりました。

システムは「所有」から「利用」へ！

リサイクルシステム  
クラウド版リリース

シンプルで  
即戦力！

セキュリティと  
災害に強い！

サーバ購入  
・管理不要！

# ●関東製紙原料直納商工組合 新年会 目白押しの スポーツイベントによる 紙需要の増加に期待

（株）紙業タイムズ社 編集協力

関東製紙原料直納商工組合は去る1月15日、都内のアートホテル日暮里で新年会を開催した。

当日は来賓として、各界・各団体の代表らが約30名ほど招かれた。資源リサイクル推進議員連盟から田中和徳 会長／衆議院議員 松原仁 事務局長／衆議院議員 葉梨康弘 副幹事長／衆議院議員 岡本三成 衆議院議員ほか、経産省製造産業局素材産業課から土屋博史課長ほか、さらに日本製紙連合会、古紙再生促進センター、東京都中小企業団体中央会など、関連団体の代表が一堂に会した。

＊

式次第は開会の辞に始まり、理事長挨拶、来賓祝辞、来賓紹介と続いて懇親会に移行、歓談が続く中、中締め、閉会の辞で締めくくられた。司会進行は栗原護・副理事長（栗原紙材）。

以下、各氏の挨拶要旨を紹介する。

## 〔理事長挨拶〕 藤川 達郎／理事長（藤川紙業）

昨年の紙・板紙国内出荷は前年比△2.6%で、4年連続のマイナスとなる見込みだ。経済自体も、賃金の低迷から個人消費が上向いてこない。本年こそ賃金上昇を通じた個人消費の回復によって紙・板紙、とりわけパッケージ関連の需要が盛り上がることを期待したい。

また今年は、2月にミラノ・コルティナ冬季オリンピック、3月にはワールドベースボール



〔理事長挨拶〕  
藤川達郎／理事長  
（藤川紙業）



〔祝辞〕  
松原 仁／衆議院議員  
（資源リサイクル議連/  
事務局長）

クラシック。6月にはサッカーのワールドカップとスポーツイベントが目白押しとなることから、広告宣伝媒体としてのグラフィック用紙の消費も増え、古紙の発生量が大幅に増えることを切に願っている。

＊

## 〔来賓挨拶〕 松原 仁／衆議院議員（資源リサイクル推進議員連盟 事務局長）

すでに衆議院の選挙戦が始まっており、本日この場にも緊迫した空気が漂っている。

資源小国の日本にとってリサイクルは重要な施策で、とりわけ古紙はその優等生だ。持続可能な社会の実現に向けて日頃から額に汗して頑張っておられる皆様に、この場で改めて敬意を表する次第だ。そして古紙の回収率・利用率は



〔祝辞〕土屋博史  
/経済産業省 素材産業課  
長



〔祝辞〕諸隈令介/古紙セン  
ター 関東地区委員長  
(王子エコマテリアル)



〔乾杯発声〕上田晴健  
/東京都製紙原料協同組合  
理事長(三弘紙業)



〔中締め〕朝倉行彦/副理事長  
(國 光)

今後さらに高めていく必要がある。それには製紙原料業界の一層の活躍が必要で、それによって皆様のご商売が発展していかれることを願っている。

\*

#### 〔来賓祝辞〕土屋 博史／経済産業省製造産業局素材産業課 課長

昨年来、国全体として賃上げが進み、国内設備投資は30年ぶりの高水準をキープしている。その結果GDPも600兆円を超えるなど、徐々に明るい兆しが見えるようになってきた。

その一方で経済に直接影響する人口減少、少子高齢化などの構造的なファクターもあり、また生産能力の低下から来る供給力の制約といった課題もある。さらに、資源価格の変動によるインフレ圧力の高まりという懸念も存在する。官民の連携を通じて日本経済の供給力を高め、需要と供給のバランスを安定させていく必要がある。

皆様方の日々の仕事を通じて資源の循環と製紙原料の安定確保が成り立っているわけで、その重要性は論を待たないが、同時に今後は次を担う人材の育成やコストアップ分の価格転嫁、各種統計類の整備などにも取り組んでいただければ、業界の基盤はさらに盤石なものとなるのではないかと。皆様の産業が一層発展できるよう、当課も汗をかいていきたい。

\*

#### 〔来賓祝辞〕諸隈 令介／古紙再生促進センター 関東地区委員長(王子エコマテリアル)

今年の紙・板紙国内出荷は、恐らく5年連続

のマイナスになるのではないかとされている。古紙業界にとって厳しい状況が続くが、当センターとしては新たな回収源として雑がみに注目している。一般廃棄物の中から雑がみを選別し製紙原料にしていくことは、日本の紙リサイクルシステムにとって重要なテーマだ。日本の古紙回収率は80%超という世界に誇るべき水準だが、同時に異物の混入が少ないことでも国際的に高く評価されている。雑がみの分別回収によって、この評価をさらに高めることができるのではないかと。

\*

#### 〔乾杯発声〕上田晴健／東京都製紙原料協同組合 理事長(三弘紙業)

こういう厳しい時代だからこそ、共存共栄の精神で堅実な経営を志向していかなければならないと思う。仕入価格や燃料代などが上がった時にはきちんと販売価格に転嫁し、それで利益が出たら社員に還元する、今年は、こういう経営の実現に向けて頑張っていきたい。

\*

#### 〔中締め〕朝倉行彦／副理事長(國光)

本日は冒頭、藤川理事長が「今年は世界的なスポーツイベントが目白押し」と話された。そして2月初めには衆議院選挙もある。さらに当組合でも、5月には役員の改選が行われる。理事長は変わるかもしれないし変わらないかもしれない。いずれにせよ、この一年、皆様方に健康で過ごしていただけるよう三本締めで締めくくりたい。

# ●全国製紙原料商工組合連合会 原料商工組合連合会新年会 新年会

## 各組合がそれぞれの地域で 雑がみの掘り起こしに 注力しよう

(株)紙業タイムス社 編集協力



全国製紙原料商工組合連合会は1月22日、東京・台東区の浅草ビューホテルで新年会を開催した。

冒頭、開会の辞を石川喜一郎 副理事長（中部商組：石川マテリアル）が述べた後、大久保信隆 理事長（関東商組：大久保）が挨拶。その後、来賓を代表して



【開会の辞】  
石川喜一郎 副理事長

資源リサイクル推進議員連盟の甘利明 最高顧問（自由民主党 元幹事長）、経済産業省製造産業局素材産業課の土屋博史 課長、日本製紙連合会の野沢徹 会長（日本製紙）らが登壇し、それぞれ祝辞を述べた。続いて乾杯の発声を古紙再生促進センターの長谷川一郎 代表理事（レンゴー）が行い、自由歓談に移行。

宴たけなわの中、中締めは岩渕慶太 副理事長（九州商組：イワフチ）、閉会の辞は藤川達郎 副理事長（関東商組：藤川紙業）が述べ、和やかなうちに新年会を終了した。

以下、各氏の発言をピックアップする。

【開会の辞】石川喜一郎 副理事長（中部商組：石川マテリアル） 古紙持ち去り問題については、いよいよ法制化に向けて走り出すと聞いているが、容器包装リサイクル法も前回の改

正から10年が経過し見直しの議論が始まろうとしている。また22年に施行されたプラ新法では、従来の3Rに加えてRenewable（再生可能資源への転換）の考え方が打ち出された。これによってプラ素材を、再生可能な紙素材に切り換えるといった動きも出てきている。全原連は来年、設立50周年の節目を迎えるが、ごみ化しているものの中から雑がみを掘り起こすことが業界としての課題だ。サーキュラーエコノミーの実現に向けて、その一翼を担うべく活性化する年にしたい。

【理事長挨拶】大久保信隆 理事長（関東商組：大久保） 丙午は

太陽のように明るく、情熱や決断力を象徴し、あたかも日本国旗のようだと思う。また、努力が実りやすい年回りとされている。今年は太陽のように、業界が昇っていく年になってほしいと願う。



【理事長挨拶】  
大久保信隆 理事長

昨日、日本製紙連合会が2026年内需見通しを発表したが、紙・板紙合計で前年比△2.7%と5年連続のマイナスとなっている。同時に古紙の回収量も2014年以降、前年を下回る状況が続いている。再び日が昇るような業界にするために

は、どうすればよいのか。量が増えないのであれば、生産性の向上でコストを下げる必要がある。

中学・高校生の時に。生産の三要素は資本と労働と土地だということを学んだ。大学の時にはサミュエルソンの『経済学』で、需要曲線と供給曲線の交わったところが価格だと教わった。現状を鑑みると、やはり生産の3要素に立ち返って改善を進めることが肝要ではないか。自分なりに解釈すると、「労働」の中には機械設備が含まれ、「資本」の中には人材が含まれている。これを高めるには、どうすればよいのか、何が必要か。

2024年に設立50周年を迎えた古紙センターは、その年に雑がみの掘り起こしを改めて提言し、全原連が50周年を迎える2027年にその方向性が確立されることを期待すると言ってもらった。これは大変重要なテーマで、一般廃棄物の中に占める紙ごみの割合は30%あると推定されており、この中から雑がみをどう拾い出していくかが今後の課題だと思う。雑がみをきちんと分別できる社会の仕組みをつくっていく必要がある。来年の設立50周年に向け、全国各地の組合がそれぞれの地域で緑を護り、街をきれいにする活動を続けながら雑がみの掘り起こしに注力してほしい。

#### 【来賓祝辞】 甘利 明／自由民主党 元幹事長 (資源リサイクル推進議員連盟 最高顧問)

私は政治家は引退しているが、政治活動は続けると宣言している。選挙はもう全く関係ないのだが、長年身体に染みついている感覚があるせいか、夜中に目が覚める。で、「ああ、もう自分は選挙に出なくていいんだ」と気づき安心して再び眠りにつく。明日が衆議院解散ということで、本日ま



【来賓祝辞】  
甘利 明／自民党元幹事長  
(資源リサイクル推進議員  
連盟・最高顧問)

だ到着していない議員の方々が大量にいるが、大変だろうと思う。

資源リサイクル議員連盟については発足時から会長を務めてきたが、議員を引退したので、田中和徳さんに後事を託すことにした。しかし、その田中さんや事務局長の松原仁さんに「今後もリサイクル議連に残ってほしい」と頼まれ、「分かりました」と返事をした。そういう次第で、最高顧問という肩書きはどうかなと思うけど、引き続き現役メンバーの方々と仕事をしている。

動脈と静脈が人体を構成しているのと同じで、産業活動も社会活動も動脈と静脈の両方で成り立っている。両者がシームレスに繋がっている状態が理想的で、一番無駄がない。つまりリサイクル—資源循環によって環境負荷を最小限に抑えることができる。古紙のリサイクルはその模範生のような存在で長い歴史があるが、近年は持ち去り問題などで皆さんからいろいろなご意見ご要望をいただいている。

リサイクル議連としては、そうした皆さんの声をしっかり受け止めて、この素晴らしい日本の静脈産業を守り発展させていくため、これからも活動していきたい。最後に議連のメンバーが全員、国会に戻ってこられるよう皆さんの応援をよろしくお願いする次第だ。

【来賓祝辞】 土屋 博史／経済産業省製造産業局素材産業課 課長 昨年は米国の関税措置をはじめ、各国における自国優先の産業政策など、新たな国際秩序の胎動に直面した年だった。そうした中で産業界の皆様には国内投資や賃上げなどに日々チャレンジしていただき、名目GDPが600兆円を超えるまでに至った。その一方で人口の減少、少子高齢化、人手不足など供給面の制約をいかに克服していくのかという課題にも直面して



【来賓祝辞】 土屋博史 /  
経済産業 製造産業局  
素材産業課 課長

いる。行政としては国内の官民投資を活発にして日本経済の供給力を高め、需要と供給のバランスに留意しながら物価を安定させ、強い経済を目指していきたいと考えている。

古紙の重要性については今さら言うまでもなく、皆様が日々の事業を通じて日本経済。そして国民生活を支えておられることに改めて御礼を申し上げる。古紙の循環による必要な製紙原料の確保は、サーキュラーエコノミーの実現に不可欠の要素だと考えている。私自身、今後も甘利最高顧問をはじめ皆様からいろいろなことを学び、勉強しながら頑張っていきたい。

**〔来賓祝辞〕 野沢 徹／日本製紙連合会 会長（日本製紙）** 本年は輸出の回復や設備投資の増勢、賃上げの継続、物価上昇率の鈍化などが見込まれており、政府の打ち出す政策の効果発現を通じて、景気の本格的な回復を強く期待したいところである。

ただ、こうした経済情勢の中で紙・板紙の需要はデジタル化や少子化といった構造的な要因から、グラフィック用紙を中心に減少が続いている。この紙・板紙の需要減少に伴い、重要な製紙原料である古紙の回収量も減少傾向にあり、この傾向は残念ながら今後も続くものと懸念している。

さて現在、2030年に向けた古紙の新たな利用率目標について検討を進めているが、新聞をはじめとする。原料として使用可能な古紙の発生量減少や品質の劣化は、利用率向上を図るうえで大きな課題であると認識している。したがって全原連組合員の皆様には、引き続き古紙の質・量両面にわたる安定供給をお願いしたい。高度な古紙リサイクルシステムを維持するため引き続き全原連の皆様と問題意識を共有し、一体となって取り組んでいきたい。



**〔来賓祝辞〕**  
河村たかし／衆議院議員  
（資源リサイクル推進議員連盟）



**〔来賓祝辞〕**  
野沢 徹／日本製紙連合会  
会長



**〔乾杯の発声〕**  
長谷川一郎／  
古紙センター 代表理事

製紙連は昨年、関係業界の皆様とともに業界横断的な広報事業を推進するため『プロジェクトP推進協議会』立ち上げた。製紙業界が森林の循環、エネルギーの循環、古紙の循環という3つのサイクルを通してサーキュラーエコノミー社会の実現に大きく貢献しているという実態を広く発信していくことが狙いだ。この活動を通じて、多くの生活者の方々に製紙業界に対する正しい理解を深めていただくとともに、紙リサイクルへの関心も一層高めていけるものと考えている。本活動へのご理解ご協力をお願いする。

製紙連ではこのほか、適正取引の推進や物流問題への対応についても関係省庁や関係業界と連携し、引き続き注力をしていく。

**〔乾杯の発声〕 長谷川一郎／古紙再生促進センター 代表理事（レンゴー）** 国民の皆様の協力を得て、現状ごみとして排出されているものの中から雑がみを分別して取り出し、製紙原料として活用していくことが原料業界にとっても製紙業界にとっても、さらに行政にとってもプラスになる。古紙センターは皆様と一緒にこの課題に取り組んでいく。

**〔中締め〕 岩淵慶太 副理事長（九州商組：イワフチ）** 大久保理事長から話があったように、全原連は来年に設立50周年の節目を迎える。今年の目標の一つは雑がみの回収を増やすこと、そして古紙の持ち去りに関して法による規制を行うこと。この二つの目標に向かって頑張っていきたい。数量面だけに目を向けるとなかなか



【中締め】  
岩瀬 啓太 / 副理事長



【閉会の辞】  
藤川達郎 / 副理事長



安全セーフティ+のメンバーを紹介する大久保薫リーダー（右端）

厳しいものがあるが、本日ここにお招きしている先生方や経産省、製紙連のお力も借りながら局面を開いていければと思う。

【閉会の辞】藤川達郎 副理事長（関東商組：藤川紙業） 本日は北から南まで大勢の組合員企業にご参加をいただき、ありがとうございます。また甘利最高顧問をはじめ製紙連の野沢会長、経産省の土屋課長にも祝辞と激励のお言葉を頂戴した。そのほか、ご出席をいただいたご来賓の方々にも御礼を申し上げる。ありがとうございました。

＊

#### 【安全衛生委員会からの報告】

懇親会の半ばでは、全原連安全防災委員会の齋藤米蔵委員長や大久保薫 安全セーフティ+リーダーより、昨年末に実施した「熱中症対策アンケート」の結果が紹介された。

それによると、「熱中症の事案はありますか？」との設問に対して110件の回答があり、内訳は「ある」が54.5%、「ない」が45.5%。半数以上が熱中症の事案を抱えていた。その具体的な事案内容（回答数51件）では「休息」が82.4%と最も多いが、「救急搬送」も7.8%あった。

また各社が実施している熱中症対策をランダムに挙げてもらったところ、多い順に以下のようなになった（複数回答）。

- 塩分タブレット・塩あめ等の支給…84.5%
- 水分等の支給…84.5%
- 空調服（ファン付き作業服）…63.6%

- 休憩時間の増加…60.9%
- スポットクーラーの増加…48.2%
- 扇風機の増加…43.6%
- 吸湿速乾・通気性のよい作業服…39.1%
- ネッククーラー…33.6%
- 冷蔵庫・冷凍庫の増加…27.3%
- ミストの設置…25.5%
- 対策手当の支給…18.2%
- 空冷服（氷のうや保冷剤を入れる）…17.3%
- アームカバー（冷感素材）…9.1%

なお、安全セーフティ+は以下のメンバーで構成されており、全員が女性である（敬称略）。  
▷大久保薫（リーダー）▷高松ひろみ▷吉浦亜矢子▷篠田朋香▷傍島万記▷八田典子▷南英里

報告の締めくくりに齋藤委員長は「業界の無事故・無災害を撲滅するためには、実際の事故や災害事例を共有し、事例に基づいた啓発活動を行うことが不可欠だ。もし各事業所で事故が発生した場合は、その内容をWebのアンケートに答える形で報告してほしい（URL <https://forms.gle/kiyx2eNquusjJwvT9>）。所要時間は5分程度で、無記名で構わない。回答内容は、本調査の目的以外には使用しない。業界全体で安全情報の共有を進め、老若男女問わず、誰もが働きやすい環境づくりに邁進していくので、今後も皆様の変わらぬ協力をお願いする」と呼びかけた。

## 令和7年度 集団回収感謝状贈呈式を開催

公益財団法人古紙再生促進センター関東地区委員会は、令和8年2月6日（金）16時より、アートホテル日暮里ラングウッドにおいて「令和7年度 集団回収感謝状贈呈式」を開催しました。

当日は、関東地区において長年にわたり古紙の集団回収活動に尽力され、顕著な成果を上げられた13団体に対し、感謝状および記念品が贈呈されました。

式典の冒頭では、諸隈委員長より挨拶があり、「集団回収は、地域住民の皆さま、そして団体役員の皆さま一人ひとりの努力の積み重ねによって支えられている。心より感謝申し上げたい。今後も紙のリサイクルがさらに促進されることを祈念する」と述べられました。

### 令和7年度 関東地区集団回収感謝状贈呈団体

| No | 都道府県 | 市区町村 | 団体名              |
|----|------|------|------------------|
| 1  | 東京都  | 荒川区  | 東日暮里三丁目三河島町会     |
| 2  | 東京都  | 足立区  | 皿沼子供会            |
| 3  | 東京都  | 品川区  | 大井水神町会           |
| 4  | 東京都  | 立川市  | 富士見町一丁目東協和会      |
| 5  | 東京都  | 町田市  | 玉川学園町内会          |
| 6  | 神奈川県 | 横浜市  | 相鉄団地 南子供会        |
| 7  | 神奈川県 | 横浜市  | 霧が丘グリーンタウン第一自治会  |
| 8  | 千葉県  | 松戸市  | ラミーユ松戸ハイライズ自治会   |
| 9  | 埼玉県  | 川口市  | 川口市内障害者施設運営団体連絡会 |
| 10 | 埼玉県  | 川口市  | 川口市新井町町会         |
| 11 | 群馬県  | 高崎市  | 城山校区 輝く子ども会      |
| 12 | 栃木県  | 鹿沼市  | 引田悠遊クラブ          |
| 13 | 茨城県  | 坂東市  | 坂東市立岩井中学校 PTA    |

…欠席

…団体代表挨拶



続いて感謝状贈呈が行われ、受賞団体を代表して、川口市内障害者施設運営団体連絡会の松本様よりご挨拶をいただきました。

松本様は、「市内の障がい者施設 50 施設・15 団体が加盟する連絡会として、株式会社富澤様と連携しながら古紙回収を継続できていることを大変ありがたく思っている。今回の受賞は大きな励みになる」と謝意を述べられました。

また、藤川副委員長からは、「集団回収で回収される古紙は品質が非常に高く、地域を取りまとめた役割の皆さまのご尽力に深く敬意を表したい。今後も古紙の集団回収活動をぜひ継続していただきたい」との言葉がありました。



Part I. ベトナム視察レポート  
Part II. マレーシア視察レポート

委員会  
トピックス

需 給 委 員 会

# I. ベトナム 視察レポート



## 1. 訪問期間

2025 年 11 月 18 日(火) ～ 11 月 22 日(土)

## 2. 訪問メンバー

団 長：樋口副委員長(株式会社 新井商店)

メンバー：望月委員(市川紙原 株式会社)

坂下委員(栗原紙材 株式会社)

高木委員(美濃紙業 株式会社)

アテンド：垣尾課(国際紙パルプ商事 株式会社)

## 3. ベトナム製紙産業の現状

ベトナムの製紙産業は、経済成長と国内需要の増加により成長路線を維持しており、特に紙製包装材の分野で高い成長が見込まれている。

今回の視察においても、各製紙メーカーが本年度及び次年度以降において、マシンの新設、或いは、マシン改造による増産を計画していることを確認した。そのほか、ナインドラゴンが次年度以降に 100 万トンクラスの製紙工場を南ベトナムに新設することを計画していると、現地製紙工場担当者から聞いたが、ベトナム国内需要の拡大を見据え、多くの外資企業がベトナム市場に参入し、生産拠点を設けており、ベト

ナム国内の紙供給量が増加し、地場企業と国外メーカーとの競争が激化していくことを懸念する声も聞く事が出来た。

ベトナムは国内の紙生産能力に対して古紙の回収率が低い（回収率は約 30% 台と言われている）、その不足分を補うために古紙輸入に大きく依存している。

2022 年のベトナムの古紙輸入総量は 317 万トンで日本からの輸入量は 66 万トン（シェア約 20.8%）で、米国に次いで 2 番目の主要輸入元であり、2024 年（1 月から 12 月までの年間）の日本の古紙輸出においては、日本からの輸出総量約 200 万トンの内ベトナム向け輸出量は 72 万トンと日本の古紙輸出全体の約 36% がベトナム向けであった。

この様に、ベトナムは日本にとって長年にわたり主要な古紙輸出相手国であり、中国が古紙輸入を全面禁止して以降、その重要性はさらに高まっている。

今回の視察においても、各製紙工場の担当者から、「日本からの古紙の輸入量を拡大したい。」「高品質の日本製古紙は、特に表層となる部分となる重要な原料であり、一定の割合を常に確保する必要がある」等、日本製古紙についての需

要は拡大する方向にあることを確認出来た。

一方、ベトナム政府は環境保護に対する意識を高めており、古紙を含む再生資源の輸入規制を厳格化していく方向であることも確認出来た。中国が古紙輸入を禁止した主な理由の一つが、古紙に含まれるプラスチックや金属などの異物の多さであったが、ベトナムも同様に、輸入される古紙の品質基準を厳しく設けており、基準を満たさない貨物は受け入れを拒否されるリスクが今後拡大する可能性が懸念されており、組合員各社の品質管理においても示された基準を満たす必要があることを再認識することが出来た。

今後、日本国内の製紙産業は右肩下がりに向かっており、ベトナムを含む海外への古紙出荷は重要な販路であり、今後も各国の状況を継続的に確認することが必要であるとの認識を強くすることが出来た。

#### 4. 訪問先各工場の状況

##### ① STAVIAN

面談者：Andy Nguyen Trong Cong  
(General Direwctor)

##### ◆工場概要

設 立：2009年(2024年 STAVIAN へ売却)  
生産品目：家庭紙  
従業員数：約 2,500 名



買収後、ライセンス問題により JP CORELEX から社名変更できずにいたが、先週会社名を STAVIAN へ変更済み

12月からは、STAVIAN 名義のライセンスで原料輸入可能となる見込み

##### ◆生産状況

生産能力：30,000t/年

⇒20,000t/年の古紙もの生産ライン増強見込み

⇒100,000t/年 100% pulp もの 2027Q1 ライセンス獲得見込み

生産の 60%は白ものトイレット

輸入原料 JSOP,CUPSTOCK,JOMG

輸入調達数量 1500mt/月(来年目標 2,000mt)

生産の 40%は茶もの napkin、タオル輸入原料 JOCC1000mt/月 AOCC # 12 200-300t/月

2025 年生産開始

加工能力：60,000t/年

(不足分は、中国、インドネシア、ベトナムの製紙メーカーから購入)

##### ◆その他

ティッシュロール完成品・原反ロールの輸出  
欧米アフリカ等 25 か国ベトナム国内のみ自社ブランド (OTAKAMI) で販売業界年間成長率 10-15% だが、生産能力の拡大スピードはそれ以上であり、供給過多で厳しい競争にさらされている。





## ② Kraft of Asia Paperboard & Packaging Co.,Ltd (略して KOA)

面談者：張四维 General Direwctor

DINH THI NGOC Team Manager

### ◆工場概要

社名：Kraft of Asia Paperboard & Packaging Co.,Ltd (略して KOA)

生産品目：テストライナー、中芯

稼働時期：2021 年 10 月稼働

生産規模：40 万トン / 年

※アジア No.1 の環境に優しい工場をキーワードに、丸紅によって設立

- ・排水処理の徹底（日本より厳しい排出基準）
- ・天然ガス採用（コストは掛かるが CO<sub>2</sub> 排出量は石炭の半分）
- ・太陽光発電導入（工場使用電気の 3 分の 1 超）、等

丸紅による 100% 出資で設立されたが、事業環境の悪化により、2024 年 3 月期単体決算において特別損失（関係会社株式評価損及び関係会社事業損失引当金繰入額）239 億円の計上を行い、2025 年 2 月-3 月にかけて、台湾の投資会社である Meico anagement Co., Ltd.(以下、MEICO 社)に全持ち分を売却。

MEICO 社代表者の余美玲氏は、台湾紙業の筆頭株主である京城銀行の董事長の配偶者。

MEICO 社と台湾紙業の資本関係は不明だが、現在、KOA 向けの原料調達窓口は、台湾紙業 (TPPC) が行っている。

日本からの KOA 向け古紙輸出に関しては、従来、丸紅本社・フォレストプロダクツ本部・パッケージ事業部が売買に介在していたが、KOA 売却後は、古紙トレードから完全撤退している。なお、KOA 向けの古紙輸出に関して、条件調整と売買で商流が異なる。

従来 売買条件調整・支払い：丸紅⇔日本側商社

売却後 売買条件調整：台湾紙業 (TPPC) ⇔ 日本側商社

支払い：KOA ⇒ 日本側商社

従来、夾雑物の多さや歩留まりの悪さからローカル OCC の割合が低かったが、台湾資本に売却された後、日本古紙よりも安価ということを理由に、急激にローカル古紙の買い付けを増加させている模様。

結果的に、日本古紙は以前の 8,000-13,000mt 程度の購買量から、足元は 3,000mt 程度まで減少している。

2026 年 3 月を目途に、数量・単価調整・支払いも、KOA が直接行う・VIPA（スイスの製紙原料ブローカー）と話している。2026 年生産が伸びてきたら、イギリスのスーパーから発生す

る段ボール古紙を増発注する予定。生産コストに占める、古紙原料の割合44%であり、2026年の購買量増大に向けて、できるだけ多くのサプライヤーと接触している。

#### ◆生産状況

現状 20,000t/月

2026年3月目標 30,000t/月

- ・2台目の製紙ラインに関して、政府へ申請書提出予定（9月中）、1年間の準備（環境アセスメント等）
- ・2026年7月を目標に許可取得見込、2028年頃稼働予定（政府からの許可取得が難航しており、どうなるか不透明）

#### ◆原料調達状況

60%前後 ローカル古紙

20-30% AOCC

20-30% JOCC（40-60%という話があったが相違ありと認識）

2026年からは月産目標3万tに対して、最大約3.5万tの古紙調達が必要になると見込んでおり、そのうち半数を日本品で調達したい考え。（1.5-1.8万t）

日本の商社に加え、台湾・中国に所在する商社からもJOCCを調達しているとのこと（社名不明）

ベトナム古紙単価

下半期は国際市況と連動し下落 足元 4,050ドン/KG（24円程度 工場着）調達数量に関して、現状大きな問題なく数量確保できている。

#### ◆その他

- ・ベトナム北部バクニン地区（ハノイの北東35km）の中小メーカーが淘汰された影響で、同地区の古紙を、古紙回収業社が海上輸送でカイメップ港まで持ってきている。カイメップ港から工場（7km）までの陸送運賃は\$8/mt。
- ・ベトナム正陽紙業 50万t生産台湾紙業とナ

インドラゴンとの合併、台湾紙業が20%保有  
・台湾紙業はベトナムにコルゲーターを所有（5か所）し、原紙は主に正陽紙業から調達している。

3か所 コルゲーター、シート加工

2か所 シート加工+製罐

- ・買収後のKOAは、上記コルゲーターへ販売せず、従来の顧客へ販売中
- ・丸紅へは、カンボジアとタイ向けで輸出している（FOB単価で販売）。
- ・バクニン地区の中小メーカーは90g中芯を生産していたが、それらが廃業した影響で、一時的に90g中芯が品不足。マーケットでの需要が高い。
- ・ライナー生産のサイズ剤に関して、KOAは現在は層間に入れているが、ベトナムの他社は表層へ加工。2025年12月以降、マシン改造により、KOAでも表層中層を選択できるようにすることで、顧客の選択肢を増やし、販売増加につなげたい。
- ・2025年からシート工場、製罐工場が急増している。中国からの各業界の工場移転による需要増加が背景にあり、同国での生産ラインは増加していくが、需要も同時に増加していくとみている。





### ③ Saigon Paper

面談者：木村氏(COO、副社長、購買責任者)  
大畑氏(Senior General Manager)

#### ◆工場概要

生産品目：テストライナー、中芯、チップボード、トイレットペーパー、ペーパータオル

稼働時期：1997年創業、2018年/双日が買収株式保有率 97.7%

生産規模：段原紙 192,500t/年(能力21万t 3機)

ティッシュ 35,000t/年(能力4万t 5機)

従業員数：約1,000人(2025年9月/日本人4名)

発電方式：バイオマス 70% (もみ殻 メコンエリアから調達)

石炭 30% (微粉炭) ⇒バイオマス 100%目指している

家庭紙アイテム別生産比率

- ・トイレットペーパー 60%
- ・ティッシュペーパー 25%
- ・ナプキン 15%

家庭紙シェア

- ・南部エリア 20-25%
- ・北部エリア 2%
- ・ベトナム全土 12-13% 業界 1-2 位

#### ◆生産状況 (2025年9月)

6-9月 段原紙、ティッシュともにフル生産

段原紙 15,000t/月

ティッシュ 3,000t/月

10月も稼働は好調で、テト需要、バクニン地区工場閉鎖による一時的な原紙不足によるもの。

・家庭紙生産は営業黒字だが、段原紙生産の営業赤字を補っている状況。

・段原紙は、原料単価下落により、2025年に入ってから大きく収益改善したが、原紙単価を大きく上げられる状況になく、下記収益構造により、原料コストが少しでも上昇すれば再び収益は悪化する見通し。

#### ◆原料調達状況 (2025年9月) 年間 24万t 調達 (OCC)

輸入ライセンス条件 総使用量 80%迄 (ほぼ JOCC に割り当て)

段ボール古紙輸入量は欧米品、日本品全て合わせて約 15,000mt/月 (ほぼ日本品) 大部分の輸出商社と取引があり、規模が大きく、与信面も良好であるため、価格要求水準が高く、最も競争が激しい販売先のひとつ。

(SOP)

4,000mt 前後 / 月 ほぼ J-SOP (オフィス古紙) 日本からの調達が年々難しくなっているのは承知しており、仕入れチャンネル多角化に積極的。また、SOP の代替として、ティッシュ古紙の配合を検討中

⇒毎月 2,500t の古紙原料ティッシュを生産しているが、自社工場で発生する処分ティッシュ（原料戻し）以外に、外部購入で毎月 100-200t 程度をターゲットにしている。

芯 MAX 3% 古紙、パルプ物を問わず探している。

サイゴンペーパーの見解として、「OCC も SOP も、地域こだわらず、安定的かつリーズナブルな買い付けしたい。その為に、新しい原料のトライアルには積極的にトライする」とのこと。

特に、海外にも仕入れチャンネルを持つ当社にメリットが生じるため、積極的に仕入れ・営業活動を行う。

#### ◆その他一般情報

- ・サイゴンペーパーの認識では、ベトナム段原紙需要は年間 200-300 万 t、生産能力は 400 万 t
- ・バクニン地区で環境対策が不十分な製紙工場の閉鎖を受け、年産 60 万 t-120 万 t の供給が消失した。このため、一時的に原紙不足（特に 90-100g 中芯）が生じているが、マシン新設が複数社で進んでおり、今後もベトナム国内の段原紙は大幅な供給過多が継続すると考えている。

・段原紙輸出に関して、トランプ関税ショック前は、3,000-5,000t/月を中国向け出していたが、5 月以降ゼロになった。

・家庭紙に関して、越境 E C での家庭紙流入が脅威となっている。ティックトック上でインフルエンサーを活用した販売が盛況で、この影響で毎月約 900t 程度が輸入されていると認識している。

・サイゴンペーパーの家庭紙輸出事業は、再生トイレットがメインだが、現地では中国からのパルプ品がより低価で流通し始めており脅威。

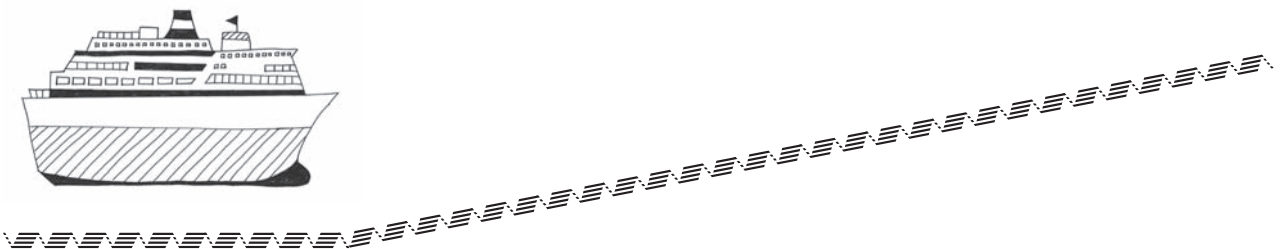
・EPR (Extended producer responsibility) 制度 2024-2026 年固定

段ボールに関して、製造業は自社排出量の 20%（自己申告制）を回収しないとイケない。必ずしも自社が排出した箱でなくてもよく、代わりに同数量をベトナム国内で購入（回収したことに）すればよい。

罰金約 70 ドル/MT 1,938 ドン/KG 2025 年 2 月末法制化

ミルクカートの回収が難航。原料として使える製紙会社がない。従来ベトナムの古紙回収率は 20%程度と言われている為、果たしてこの EPR 制度が環境負荷軽減に効果的か疑問。





## Ⅱ. マレーシア 視察レポート



### 1. 訪問期間

2025 年 11 月 10 日 ～ 11 月 14 日

### 2. 訪問メンバー

団 長；金井副委員長（株式会社 須賀）  
メンバー；斎藤委員（株式会社 斎藤英次商店）  
；持永副委員長（三弘紙業 株式会社）  
アテンド；龍 飛 国際事業部長（株式会社  
トーチインターナショナル）

### 3. 訪問先概要

#### 3-1. 豊権金属有限公司 HONG KUAN RECYCLE SDN.BHD

社 長：峰 氏 華僑系の方  
担 当：マネージャー アネン氏

#### 視察内容：

マレーシアに8か所のヤードを持つリサイクル会社（ペナン島には3か所）であり、自称ペナン No.1 の業者。従業員 400～500 名との事で、現場作業員は移民の方が多い（インドネシア、バングラデッシュ、ミャンマー、ネパールなど）。厳しい環境条件での



生活を匂わせる施設（コンテナハウス）あり。  
取扱品目は金属約 60%、アルミ約 20%、プラスチック約 20%

#### ① 金属、廃プラ専用のリサイクル工場

60 名の社員が勤務しており、回収・重機作業・選別、解体・などの業務をしている。

月間 5,000 ～ 10,000t の取り扱い。集荷、コンテナBOXを設置したものを回収してくる形態であり、行政や企業などから回収している。行政の許認可を持っており、入札などもしている。仕入単価は毎日変動し、すべて事前価格交渉にて決定。



バラ回収



金属プレス



廃プラ

## ② 古紙専用のリサイクル工場

月間 700t の取り扱いであり、内訳は段ボールが 200t、その他 SOP1（釜入模造に類似）、SOP3（込頁に類似）、MIX がある。梱包材は販売先の指定によりビニール紐、番線に分けており、古紙梱包機は圧縮のみ、結束は人力にて行う（約 500kg /BL）

回収してきたものを作業員が選別するが、品質は日本品と変わらないぐらい良品。

水分が多くなると販売できないため、在庫にシートをかけるなどして水濡れに注意している。自社の回収 70%、持込 30%、ペ

ナンの持込み業者の全業者と取引しており、価格は都度交渉。段ボール販売価格は 0.5RM/kg（約 ¥18/kg）であり、国内 12 か所の製紙会社と取引している。古紙は利益が少ないため、金属やプラに力を入れているとの事。



上物 BL



ビニール紐梱包



## 3-2. Embatech

面談相手：

Mr. Dato Munu Veerasingam  
(Managing Director)

Ms. Thievy Munusamy  
(Legal Advisor/Chief Sustainability Officer)

Ms. Anis Fari Syuhaida  
(Business Development Exective)

視察内容；

初めに応接室にて同社の事業内容について説明あり。



「スクラップの処分・リサイクル・加工・処理を一括で対応する総合サービス提供会社」であり、設立は1980年代後半。1997年に法人化し、一括総合廃棄物管理サービスプロバイダーとなる（ISO14001も取得）。

本社：ペナン州・マレーシア（ダイヤモンド工場団地）

業務エリア：ペナン島、マレー半島

従業員数：30人（現在）内ドライバー11名

車両数：11台のアームロール車、コンテナは150個

総床面積：40,000平方フィート（倉庫と業務エリア含む）1,124坪

事業内容：金属70～80%、古紙20%（段ボールは月間700tの取り扱い）

◇鉄・非鉄金属、プラスチック、紙、電子廃棄物（e-waste）などの収集、処理、リサイクル。

◇産業廃棄物／再利用可能資源の回収・輸送・分別・破碎・圧縮／最終処分までの

トータルソリューション。

◇人事アウトソーシング（企業内に人材派遣してリサイクル教育をしている）

※マレーシア国は環境規制厳しいが、一般住民の意識は低い

◇リサイクルパレット事業を2025年10月より開始

#### \* DOE ライセンス取得

Embatechは、DOE（マレーシアの天然資源環境省 環境局）によって認可された部分回収施設。電気・電子部品からの廃棄物を処理。毎年の継続審査あり（古紙のみのライセンスはない）。政府の環境に対する動きは遅く、ESG（Environment・Society・Governance）は進んでいると自負している。

#### \* 古紙事業について

古紙事業は近隣の古くから付き合いのある古紙業者（ESH）に全て販売している。販売価格は段ボールで0.5RM/kg（日本円18円）。

### 3-3. Embatech Sdn. Bhd.

面談相手：Ms. Adam Lim Yew Hack  
(Executive Director) マレー華僑  
Mr. SY THEH

#### 視察内容：

Embatechとは40年来の付き合い。工場は2か所、マレー半島には10倍規模のリサイクル工場ありとの事。ペナン工場は敷地面積1,500～2,000坪程度と推測される。業務内容としては、リサイクルのコンサルティング、廃棄物管理、個人情報および機密文書の廃棄、



リサイクル可能な材料の梱包（廃プラなど）、引っ越し事業など。古紙をメインに取り扱って30年。品種としては段ボール1,200t/月、その他SOP、MIX、ONP（看板だけあり）、廃プラ、ペットボトルなど。統計資料がないため、同業グループで数値の共有をしているが、古紙の発生は年々減少していると感じている。

※段ボール仕入価格：引取発生先へ0.3RM/kg(約¥11/kg)、持込0.4RM/kg(約¥15/kg)

※段ボール販売価格：0.5RM/kg(約¥18/kg)



### 3-4. Nibong Tebal Paper Mill Sdn.Bhd

面談相手：Mr. Chris Lee Kuang Chien  
(General Amanager)

エージェント：Mr. Sebastian Goh  
(Forestry Asia Redources)

#### 視察内容：

マレーシア最大級の衛生用紙メーカーであり、衛生用紙を年産約10万t生産する能力がある（パルプ品30%、再生品70%）。現在は需要の減退から約50%稼働となっているが、利益は取れているとの事。衛生用紙の需要減は中国などからの輸入品の流入が主な原因。上物の調達には100%国内からであり、調達の競合である白ライナーの製造がじり貧になっていることから、潤沢に入荷されている模様。調達品種は2グレードであり（SOP1・SOP3相当）、ハイグレードが\$180/mt(約¥28/kg)、ローグレードが\$170/mt(約¥26.5/kg)であ

り、月に4～5,000t購入している。以前J-OMGやシュレッターの購入実績があるが、OMGマガジンに含まれる抄色が好ましくなく、シュレッターは歩留まりの問題で購入を止めたとの事。その他近年より紙管原紙を生産しており、こちらも年産10万tの能力がある。月に3～4,000tのOCCを購入しており、輸入が30～40%（主にA-OCC）、Local OCCが60～70%。現在Local品は約\$140/mt（約¥21.5/kg）、輸入品はドライパルプ問題が影響して急落している（それまではA-OCCで\$180/

mt：約¥28/kg）。在庫は衛生用紙原料・紙管原紙原料併せて20,000t程度（約3ヵ月分）あり、調達を絞っている状況。安価なうちに購入したものが残っている様子。古紙1山ごとに在庫管理。シートをかけて保管しているが、相当古く腐った古紙も散見された。比較的に管理はしっかりしており古紙、パルプ共に3ヵ月分以上はあるように見える。衛生用紙の販売先は、ホテル、ドラックストア、ショッピングモールなどに直販している。





### 3-5. Ecoverra

面談相手：Ms. Thievy Munusamy  
(Managing Director)

#### 視察内容：

上記 Embatech の新規事業(先月より開始)。  
Bukit Tambun Juru 工業団地内の再生パレット工場で、近隣の工場などから発生する廃パレットを回収・手直しし、再生パレットとして近隣工場へ出荷。仕入・販売ともニーズが高いとの事。





## 5. 総括

同国の古紙回収率は低いため輸入頼み、また分別回収も遅れており、Local 品の品質も余り良くないと勝手に想像していたが、実際に見聞きしてみると、回収もある程度システマティックであり、また近隣諸国からの出稼ぎ労働者が多く人件費が安いせいか、選別も非常に良い。現状高くても買う状況になく、品質も含めて日本品の同国への輸出チャンスは限りなく少ないと感じた。

Embateck



Nibong Tebal Papere Mill



# 三紙会 韓国研修旅行報告

(1日目) 報告者 美濃紙業(株) 近藤 茂嘉

11月27日(木)早朝に羽田空港・第三ターミナルに集合し、韓国・ソウルへ向かいました。飛行機は予定通り11時にソウル・金浦空港に到着。金浦空港到着時は、土砂降りの雨が降っていましたが、昼食場所へ向かうにつれ雨も上がり、韓国初の食事は牛骨をじっくりと煮込んだ「ソルロンタン」でした。また、「キムチは食べ放題なのだな・・・」と感心してしまいました。

昼食後、視察先へ向かう道中、道を間違えるというトラブルがあり、少々遅れて到着。今回の視察先は「三邦物産(株)」様にアテンドいただき、インドネシアを拠点とする KORINDO グループの古紙問屋である「ドンイン資源」様を訪問しました。

月間取扱数量は約3,000t。扱い品目は、ほぼ段ボール古紙。梱包機は韓国製。出荷の割合は国内6割・輸出4割の様です。



回収車両からの荷下ろし風景



街中で見かけた回収風景(印刷工場からの裁落)

回収における韓国の特色として、段ボール回収はパッカー車では行っておらず、後部にユンボがついている大型車にて回収を行っております。最大段ボールで3t程積めるようです。運よく荷降ろしを見学させていただくことができましたが、荷降ろしには10分ほど時間がかかっておりました。ユンボを使用する為非常に高さが必要でしたので、回収現場について質問したところ、基本的には屋根無しのバラ積みしてある場所へ回収に行くとの事。そこで気になるのは仕入れの際の水分ですが、水分引きは一切しないとの事で、国内メーカーに出荷しても水分引きはされないようです。恐らく水分ありきの単価設定なのか?と推測します。

ボール品の荷姿になりますが、そこまで異物が入っているような事もなくイメージより良い印象でした。ただ、5本番線のボールでしたが、国内メーカー向けに出荷するボールの真ん中番



集合写真 ドンイン資源様にて

線が無く、恐らく経費削減かと思われます。

梱包機を拝見する事はできませんでしたが、ベールの結束部分は「渡辺鉄工(株)」様のベールに近い形でした。最後に集合写真を撮影。先方のご厚意により横断幕も用意していただきました。

視察後、ホテルへチェックイン。すぐに夕食会場へ。夕食は焼肉で、メインが“ミノ”でした。「“美濃(ミノ)”を食べる」とちょっとした冗談もありながら、私自身は戦々恐々としつつ美味しく食べさせていただきました。



ミノを目の前に不安そうな顔

食後は梨泰院などを散策し、ホテルへ戻る道中に可燃ごみなどを回収する風景に遭遇しました。ガイドさん曰く「昼間は車の渋滞が酷いので、ごみ回収は夜間に行われる」とのこと。また、道端では資源物を分別し、リヤカーなどに積み込んでいるのを見かけ、「どこの国にも資源物を持ち去る人がいるのだなあ」と感じ、1日目が終了しました。



夜間資源物を街中で分別している模様

## 〔2日目・3日目〕 報告者 栗原紙材(株)

岩崎 達弥

研修2日目は、ソウルから北に80 km離れた臨津閣公園(イムジンガク)を訪問いたしました。ここは北朝鮮との軍事境界線の南方に設定された民間人出入統制区域の外にあり、「特別な手続きなしに一般市民が北朝鮮に最も近付ける場所」と韓国人ガイドのユさんから説明を受けました。さらに我々は、ロープウェイ「坡州臨津閣平和ゴンドラ」にのって対岸の民間人出入統制区域へ向かい、在韓米軍キャンプ跡地を整備した観光地を訪問することができました。



ゴンドラから見た非武装地帯・川は臨津江

公園では、軍事境界線を一望でき、米軍基地時代に実際に使われた飛行機の標識や、ゴンドラステーション内の朝鮮戦争の掲示板などを見学しました。

我々日本人が言うところの“朝鮮戦争”は、韓国内では「韓国戦争」あるいは「6・25戦争」と呼ばれているそうです。掲示板には、「1950年6月25日、韓国は突然北朝鮮から攻め込まれ、翌日にはソウル陥落、韓国軍は釜山に追い詰められたところに、アメリカ軍が国連軍として介入し、仁川上陸作戦を成功させることで戦局が変わり、最終的には38度線付近で膠着状態に陥り停戦を迎えた。」とありました。

その次に向かったのが、烏頭山(オドウサン)統一展望台です。漢江(ハンガン)と臨津江(イムジンガン)の合流地点にあり、臨津江を挟んで一番近いところでわずか460mという近さで



烏頭山統一展望台から望む北朝鮮

北朝鮮が見られる展望台です。地下1階から地上2階は歴史博物館になっていて、3、4階は展望台となっています。ここでは無料の望遠鏡を使って実際の北朝鮮の村民の姿を覗き見ることができます。道路は未舗装で、人通りもほとんどなく、たまに見られる村民も厳しい生活を強いられてるのではないかと想像されました。

3日目は、青瓦台の手前にある、景福宮(キョンボクン)に行きました。景福宮は、朝鮮王朝の王宮になります。かつての朝鮮の王がどのような生活をし、市政をどのように執政したのか、思いを馳せることができました。最近のはやりのスポットとして BTS が MV で使用した



集合写真 慶会楼前にて

池の上に建てられた大きな楼閣である慶会楼(キョンフェル)の前で集合写真も撮りました。

その後、昼食をはさんで、戦争記念館を訪問し、再び朝鮮戦争につき知見を得ることができました。今回の研修を通じ、韓国の歴史と文化を深く学ぶと同時に、日本で朝鮮戦争といえば朝鮮特需などの言葉から、日本からは遠い国の出来事のような感覚でしたが、韓国人からみれば、大国の代理戦争として、同胞どうしが戦争で数百万人の犠牲者をだし、今なお未解決(未統一)であることを考えると、「複雑な感情を抱かざるを得ないだろうな」と実感した研修になりました。

## 新聞雑誌選別、さらに革新。

### 紐切装置付選別コンベयरライン

ヤードスペースに合わせ、自由にレイアウト。

#### 営業品目

- 各種破袋装置
- 古紙梱包機投入用コンベयर
- 空カン・空ビン選別コンベयरライン
- 各種シュレッダー投入用コンベयर
- 再生資源産業用各種コンベयर
- 各種省力機械設計・制作



**株式会社 拓己技研**

〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3  
TEL (0564) 64-3692 FAX (0564) 64-3693

## デジタルロードセル式トラックスケール

高精度・低価格・短納期 5t～100t 各種計量管理システム

## 鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

|       |                     |                  |
|-------|---------------------|------------------|
| 本社・工場 | TEL(087)845-1111(代) | FAX(087)845-7442 |
| 東京支店  | TEL(03)3243-2080(代) | FAX(03)3243-2081 |
| 大阪支店  | TEL(06)6339-0131(代) | FAX(06)6339-0139 |
| 名古屋支店 | TEL(052)586-1451(代) | FAX(052)586-1467 |
| 九州支店  | TEL(092)281-5328(代) | FAX(092)281-3822 |
| 中四国支店 | TEL(087)845-1140(代) | FAX(087)845-7442 |



## 東京都西支部

### 研修旅行報告

報告者：株式会社 このの 高橋雅之

日程：2025年12月3日～5日

視察先：(香川県)小豆島

四国ガス株式会社 高松工場  
(徳島県)淡路島

[参加者]

順不同 敬称略

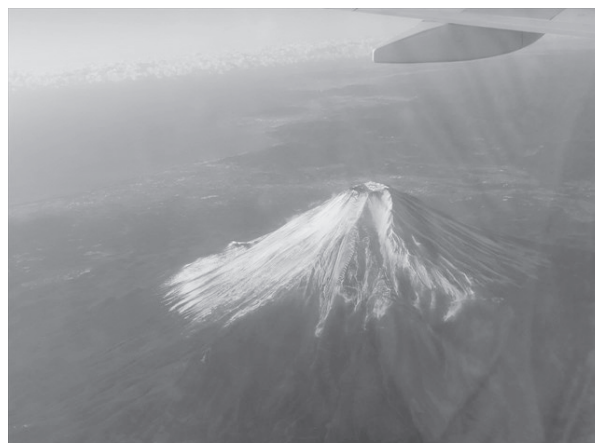
|          |      |      |
|----------|------|------|
| 株式会社     | 平松商店 | 平松邦明 |
| 株式会社     | 國光   | 朝倉行彦 |
| 株式会社     | 中田   | 中田 章 |
| 株式会社     | 小池商店 | 小池茂男 |
| 井出紙業株式会社 |      | 井出一之 |
| 三弘紙業株式会社 |      | 吉住秀樹 |
| 株式会社     | このの  | 高橋雅之 |

以上7名

【一日目】

12月3日(木)朝7時に羽田空港第一ターミナルに集合。我々一行を乗せた飛行機は羽田空港から高松空港へ向けて離陸。上空に上がるにつれ雲ひとつない快晴が広がり、その眼下には雄大な富士山が姿を現しました。まるでこの研修を祝福してくれているかのように、白い雪をまとった頂が陽光に輝き、私たちを静かに見守ってくれていました。

高松空港に到着後、高松港へ移動し小豆島へ向けて高速艇(フェリー)に乗船。30分ほどの船旅でしたが、海上は強い風が吹きつけ、波に揺られて船体が揺れましたが、無事に小豆島到着。到着後、直ぐに感じたのは“ごま油”の香りです。小



機内から眺める富士山

豆島には「かどや製油」があり、工場が港の近くにある為と説明を受けました。

最初の目的地「二十四の瞳映画村」に向かう途中にベテランバスガイドの計らいで、本来は寄る予定の無かった、「土渕海峡」に立ち寄る事が出来ました。

「土渕海峡」は、最も狭いところの幅は約9.93mで、島の東西を隔てる自然の景勝地。1997年に「世界で一番狭い海峡」としてギネス認定された場所でもあります。そんなベテランバスガイドの粋な計らいを感じつつ、「二十四の瞳映画村」に到着。



世界一狭い海峡・土渕海峡

「二十四の瞳映画村」は香川県小豆島にある、昭和初期の村と木造校舎を再現した日本映画・文学のテーマパークです。もともとは、名作小説 二十四の瞳 の映画化作品のロケセットとして作られ、1987年のリメイク版の後、そのまま観光施設として整備されました。



二十四の瞳映画村でのコマ

中には木造校舎・漁師の家・茶屋・土産物店などが並び、当時の瀬戸内海沿岸の雰囲気が漂います。訪れることで、ただの観光地ではなく、昔の日本教育や生活、文化に触れられる場所です。昔の俳優さんの思い出や、木造校舎の雰囲気を感じながら、昔ばなしに花を添えました。

次の目的地である「寒霞溪（かんかけい）」へ向かう道中「道の駅 小豆島オリーブ公園」へ立ち寄り、小豆島名産のオリーブを使用した塩漬けやオリーブ風味のアイスクリームを堪能しました。諸説ありますが、オリーブが小豆島に根付いた理由として、1908年国の試験事業として香川県小豆島・三重県・鹿児島県にオリーブの栽培が試みられました。気候風土が最も適していた小豆島で成功し、以後栽培が広がり日本のオリーブ発祥の地となったとのこと。

クネクネした山道をバスに揺られながら、「寒霞溪」山頂へ到着。日本三大溪谷美のひとつとして賞され、奇岩の溪谷美として知られる寒霞溪は日本書紀にも記述がある景勝地で、多くの地元の方々の尽力により景勝が守り継がれていくなかで、その高い観賞上の価値が認められ大正12年（1923年）に国の名勝に指定、昭和9年（1934年）に日本で最初の国立公園（瀬戸内海国立公園）の代表的な景勝地として指定された場所です。山頂から眺める瀬戸内海を見渡す景色やロープウェイの車窓から眺める“奇石”の美しさは、紅葉が終わってしまったこの時期でも堪能することができました。

小豆島各所の見学が終わり、再び高速艇で高松



寒霞溪からの眺望

港へ戻り、ホテルへチェックイン。

一日目の夕食は株式会社松本光春商店の鈴木副社長・元岡部長にも参加して頂き、香川のソウルフードでもある、「骨付鳥」を堪能しました。骨付き鳥は「おやどり」と「ひなどり」にそれぞれ分かれており、触感や歯ごたえが異なります。

「おやどり」・・・しっかりとした歯ごたえで、噛むほどに鶏肉本来の深い旨味が広がります。

「ひなどり」・・・ふっくら柔らかくジューシーで、皮はパリパリ香ばしいのが特徴です。



香川のご当地グルメ・骨付鳥

私は個人的に「ひなどり」がお勧めですが、お酒付きの方々は、「おやどり」が人気でした。また、食事の締めには、手打ちうどん「鶴丸」にて名物カレーうどんを頂きました。

## 【二日目】

研修二日目も朝から快晴に恵まれました。研修先の「四国ガス株式会社 高松工場」様へ。



四国ガス（株）高松工場にて

工場のエネルギー供給の仕組みと最新設備による安全管理体制を学びました。山口県宇部市において発生したガス漏れ事故直後での見学ということもあり、特に、都市ガス製造における環境対策への徹底した取り組みや、災害時の供給継続に向けたリスク管理は大変参考となりました。大きな工場にも関わらず社員数は14名で365日24時間体制の当工場は、LNG（液化天然ガス）を専用のタンカーでインドネシアやオーストラリアなど海外から輸入し、空気の熱などを利用してNG（天然ガス）化し、安定した熱量で供給するために熱量調整を行い、意図的に臭い付けて、プロパンガス利用エリアが大きい四国において、都市ガス供給世帯の実に46%のエリアへの供給をしているとのことでした。



四国ガス 高松工場様での研修

その後、うず潮を見学するために亀浦観光港へ移動。鳴門観光汽船に乗船し、迫力あるうず潮を海上から見学しました。自然が生み出すダイナミッ

クな渦潮に圧倒され、地域観光資源の魅力と発信力を実感する貴重な時間となりました。



渦潮観光

二日目の昼食は、まるで地中海にいるような雰囲気にもまれたリゾートホテル「モアナコースト」にてイタリアンランチを堪能。開放感のあるロケーションが印象的で、非日常を味わう事ができました。続いて大塚美術館を訪れ、世界の名画を陶板で忠実に再現した大規模コレクションを視察。美術を「保存・継承・公開」する独自の手法に触れ、文化振興や施設運営の在り方について多くの示唆を得ました。



大塚美術館の展示作品

大塚美術館の見学を終え、宿泊先のホテルニューアワジ 別邸へ。遠く大阪や和歌山の地を眺めながら露天風呂につかり、日頃の疲れを癒したのち、懇親会を開催。大阪湾を望む落ち着いた環境の中で、参加者同士が意見交換を深める事が出来ました。また、二次会では参加者全員でカラオケに出向き、日頃の緊張を忘れて大いに盛り上

がりました。普段は見られない方々の一面や意外な選曲に笑顔があふれ、会社・役職を超えた一体感が生まれました。

締めくくりには、全員で「サライ」をひとフレーズずつリレー形式で合唱し、会場が一つに。声を合わせる瞬間には、今回の研修で培った結束がより強固になったことを実感しました。とても有意義で忘れられない時間となりました。



二日目・宴会時の集合写真

### 【三日目】

最終日も天候にも恵まれ、ホテルから大阪湾を一望できる景色が印象的でした。

日本で最初の夫婦「伊ザナギノミコト・イザナミノミコト」の二神を祀る日本最古の神社「伊弉諾神宮（いざなぎじんぐう）」を参拝。幸いにも、古式ゆかしい結婚式を挙げられている場面に遭遇しました。



伊弉諾神宮にて

次に、北淡震災記念公園を訪れ、「野島断層保

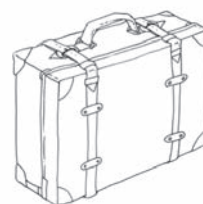
存館」を見学。兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）を引き起こしたとされ、その際に地表地震断層として現れた活断層の一部や被災したまま残る家屋などを目の当たりにして、突然起こる地震の脅威を痛感し、阪神・淡路大震災からの教訓を学び、日頃からの防災意識の重要性を再認識しました。



保存されている野島断層の一部

昼食はクラフトサーカスにて海の幸をふんだんに使ったピザやパエリアを味わい、充実した行程の中、神戸空港より羽田空港へ帰着し、2泊3日の研修旅行を無事終えることができました。

**[追記]** 羽田空港到着の際に私自身初経験となる、着陸寸前に先行機との間隔不足でゴーアラウンドしたのです。貴重な！？経験ですが、二度と味わいたくない経験でした。





三日目の昼食風景



日本標準時の基点・明石市立天文科学館 (バスの車窓から)



四国ガス 高松工場様での研修風景



二日目の宿からの朝日



二十四の瞳映画村にて



野島断層保存館での VR 地震体験

## 群馬県支部

報告者：支部長 齋藤 彰

2026年1月28日高崎市の居酒屋八兵衛で関東商組群馬県支部新年会を開催しました。2025年の8月に暑気払いをして以来なので約6か月振りの集まりとなりました。総勢9名の参加となり新年会の前に群馬県支部の支部会を開催しました。支部会では今後の群馬県支部の活動について意見を求めたところ参加者全員から積極的な意見がでました。今後群馬県支部の活動を以前に増して活発に行いたいという方向で一致し、今後も情報交換をして懇親を深めていくことを決めました。また群馬県支部の多くが埼玉県支部の北部ブロックと隣接している経緯から以前も北部ブロックと合同で支部会を開くことがありました。こちらも埼玉県支部北部ブロッ

クの方々のご都合が合えば今後も継続して合同開催していきたいという意見でまとまりました。

参加している群馬県支部会員が考えていたよりも関東商組の活動に積極的であり正直驚きました。もう少し消極的な意見も出るかと思っていましたし、消極的な意見が出て当然だと思っていたのですがうれしい誤算でありました。

意見交換をしているなかで講師を呼んで勉強会をすることや視察旅行の話も出ました。今までは関東商組の群馬県支部として多く活動できなかった私たちですから、そういったイベントが開催できればとても有益だと思うのですが、私の力ではすぐには出来ません。今後懇親を続けていくうちにいつか勉強会や視察旅行もできるようになると考えております。まずは市況報告会を定例化し新年会や暑気払いなどの行事をしっかりと行えるようにしていきたいと思っております。



群馬県支部新年会

# 三紙会 TWEET

## 花見

株式会社 共益商会  
中村 正実

「花見」 ～桜の華やぎに想いを馳せて～

ようやく春本番。当社の横浜営業所近くの大倉山記念館は、この季節、地元の桜の名所となっています。そして、横浜営業所のすぐ横の緑道も、実は、隠れたお花見スポットなのです！（カラーじゃありませんが、写真をご覧ください。）

私も満開の木の下で和みたいのですが、ここ数年、桜を楽しむ心の余裕を失っていたように思います。日々の業務の中で、上を見上げることを忘れていました。

桜は華やかにパッと咲いたら、あっとい

う間に潔く散ってしまいます。でも、その儚い美の裏には、厳しい冬を耐え、翌年また必ず同じ場所で咲き誇る「しぶとさ」が隠れています。

我々古紙問屋業界も、絶えず変わりゆく波に揉まれる毎日ですが、桜のようにしぶとく根を張り、また来年もこの花を咲かせたいですね。そんな風に思う今日この頃です。



株式会社 富澤  
富澤 進一



古紙の発生が絶好調だった 90 年代、板橋区舟渡にあったヤードの所長をしていたころの話。当時は 400 坪ほどのヤードで 2,000トンの扱いがあった。やってもやっても仕事は山ほどあり、作業は無理やりキリをつけ

ていた時代だった。しかし「花見」の日だけは定時で終わる。年度末の最大の古紙発生期であるにもかかわらず。集荷業者も坪先の印刷屋、製本屋、裁折屋、表紙張屋などの親方、職人など皆が参加して総勢 40 名近くになることもあった。場所はヤードと指呼の間にある浮間公園。場所取りは前日夜に済ませ、パートのオバちゃん達は朝から煮込みなど支度に追われ作業はなし。ガスコンロや照明まで持ち込んでの大宴会。良い時代だったと思う。古紙は潤沢にあり、集荷業者や坪先のおやじ達と無礼講で飲み、一体感があった。今では古紙は減り、集荷業者や坪先も廃業し随分減った。浮間公園は火気使用も禁止になった。今も花見には行くが、あの頃の花見は格別だった。



## の後記



## 編集人

今号の編集後記は、今井むつみ先生のご講演「何回説明しても伝わらないはなぜ起こるのか」から学んだことをお伝えしたいと思います。

私たちは日々、「伝える」ことに多くの時間と労力を費やしています。それでもなお、「きちんと説明したはずなのに伝わらない」と感じる場面は少なくありません。そのたびに、伝え方が悪かったのではないかと自分を振り返ることが多いのではないのでしょうか。

実は伝える方が悪いのではなく相手の解釈が悪いのです。人間の思考には間違いがあり、私たちは言葉をそのまま理解しているのではなく、それぞれの解釈を通して意味をつくり出しているということです。つまり、問題は「伝え方」だけではなく、「どのように解釈されるか」にあるということです。

ここで重要になるのが「スキーマ」と「アブダクション推論」という二つの考え方です。スキーマとは、これまでの経験や知識から無意識に形成された“ものの見方のOS”です。私たちはこのスキーマを通して世界を理解し、言葉の意味を受け取っています。そしてアブダクション推論とは、不完全な情報から「おそらくこうだろう」と意味を補い、全体像を組み立てる思考の働きです。いわば、行間を読む力と言い換えることもできるでしょう。

この二つが組み合わさることで、私たちはコミュニケーションを成立させています。しかし同時に、スキーマは人それぞれ

異なり、アブダクションの仕方も人によって変わります。その結果、同じ言葉を聞いても異なる意味に解釈され、思い違いやすれ違いが生まれます。伝わらないのは、必ずしも言い方が悪いからではなく、解釈の前提が異なるからなのです。

講演の中で示されたように、人は自分が見ている世界を客観的だと信じがちですが、実際には予測や期待、知識に大きく影響されています。また、記憶も正確に保存されるものではなく、意味に変換されて保持されます。こうした思考の特性を踏まえれば、ミスコミュニケーションは避けがたい現象であるとも言えます。

では、どうすればよいのでしょうか。今井先生は、ミスコミュニケーションをゼロにすることはできないとしながらも、その仕組みを理解することで減らすことはできると示されました。相手は自分と同じスキーマを持っていないかもしれない、同じようには解釈していないかもしれない。その前提に立つことが、対話の出発点になります。

AI が合理的に判断を下す時代にあって、人間は不完全な情報の中から意味を見出し、解釈し、新たな価値を生み出していきます。人間にはできるのですがAIにはできません。この力の源泉がスキーマとアブダクション推論です。伝わらないことを嘆くのではなく、その背景にある解釈の違いに目を向けること。それが、より良いコミュニケーションへの第一歩ではないのでしょうか。

(編集人／斎藤大介)



# 全国小中学生 紙リサイクルコンテスト 2025

(主催 公益財団法人古紙再生促進センター)

全国製紙原料商工組合連合会 理事長賞

特別  
金賞

札幌市立資生館小学校 6年

縄 乃々香

私たちまだ生まれ変われます！

